

錦川水系島の谷沢登 山行報告書

日程：令和7年(2025年)8月16日

参加者：土橋・白尾・岡村

行程：路肩駐車地点 8:28 ⇒ 入溪 8:35 ⇒ 林道木谷島の谷線 12:54 ⇒ 路肩駐車地点 13:42

〔行程5時間10分 下山50分〕

岩国市内を経て瀬戸内海に注ぐ、錦川水系木谷川の支流、島の谷の沢登に出かけた。

県道の路肩に車を駐車。

「木谷峡 黒滝」看板の下より木谷川を渡渉して島の谷へ入る。



出発〔8:28〕



県道の路肩に車を駐車

この看板から木谷川に下りる
この看板の黒滝は島の谷の上流の黒滝を指すのではないようだ



今回の廻行ルート



掲示板より

木谷川渡渉
〔8:36〕



F1 〔8:38〕



F2 〔8:40〕



F3 [8:52]



F3 水量が多い中を頑張って登る



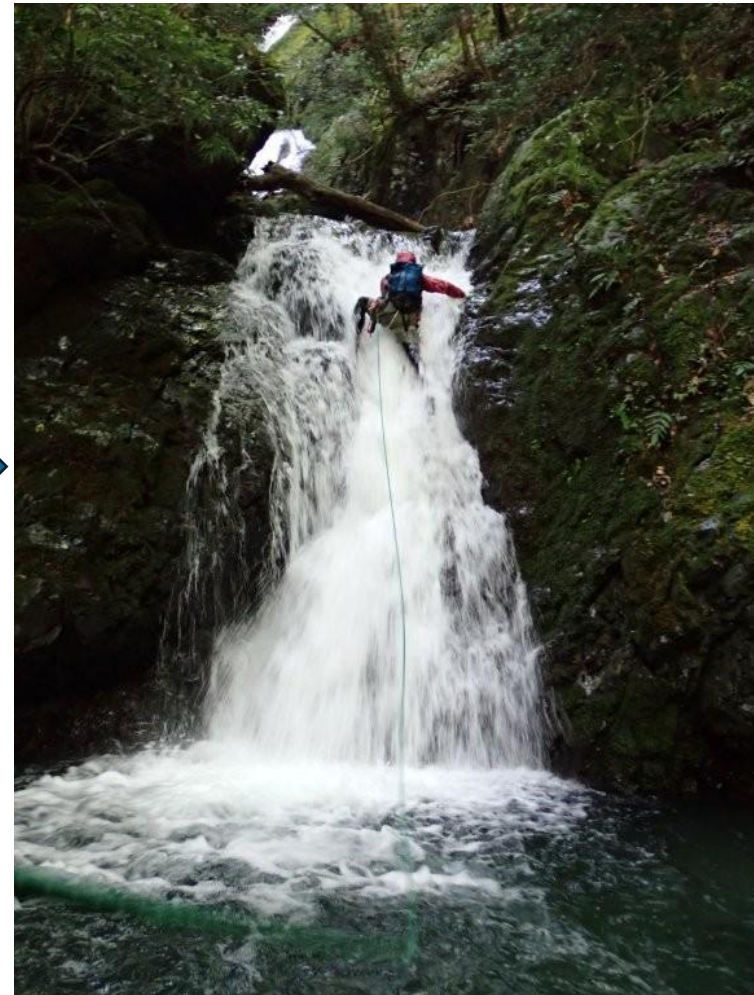
F4 トップは 直登 後続は左岸をへつり簡単に登れた [9:04]



水量があるため上がり込みに やや苦戦する



取付いたら快適に登れる





[9:42]



F6 [9:49]
念のためザイルを
出す



F6 [9:53]
上部より



F7 [9:55]
土橋さんトップロープでトライ
水量が多いため我々は左岸
を巻く

三浦章氏 著「西中国山地の沢」 島の谷の遡行図〈以後 遡行図と記載〉によると、F6 5m・F7 黒滝 20m・F8 15m・F9 3m との表記がある。

仮に、F7 からF9 を総称して黒滝と呼ばれているのであれば、F8の注ぎ口が F9 として記載されているのではないかと推測した。

今回 F9 は、水量が多かったため無理せず左岸を巻いた。



F8・F9 [10:46]



〔11:01〕



ライフジャケットが有効であった 〔11:07〕

今回、私はライフジャケットを装着して初めて沢登に望んだ。

釜で足がとどかないところでは非常に楽で、体力の消耗が軽減できた。

全員ライフジャケットを装着していることもあり、F9以降も積極的に正面突破で進んでいった。



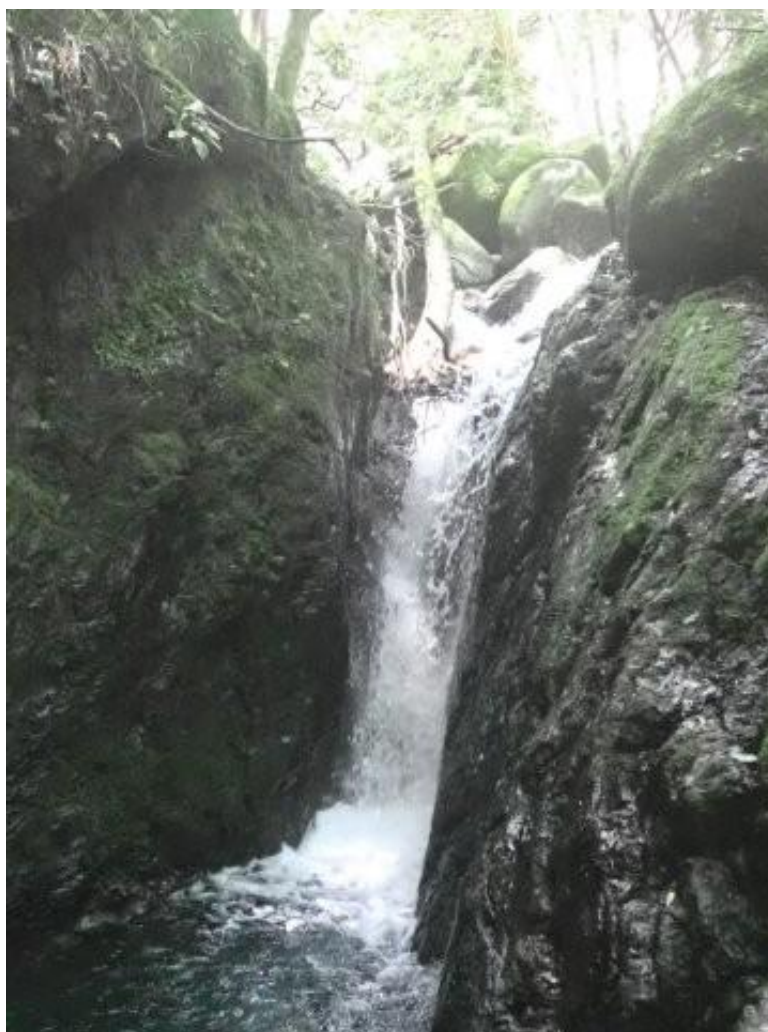
〔11:08〕



〔11:11〕



日が差してなかなか良い感じである [11:15]



途中小さな滝が複数あったが、
遡行図のF10滝 12mに該当する
滝は、この滝しかなかった
今回、私は左岸を巻いた
[11:18]



[11:29]



[11:37]



[11:41]



[11:47]



[11:48]



[11:52]



ライフジャケットを装着しているおかげで 水深があってもゆとりができ このアングルで撮影が出来た [11:54]



F12 大滝に到着 [12:37]



大滝の下にて 滝に打たれていい気持ち



右手に建物を確認 [12:13]

右手に建物を確認。沢はこれまでの降雨のせいか倒木が多く荒れていて進みづらく、おまけに小さな虫が寄ってきて払いながら進むも、目の中に何度も飛び込んできり、アブもたかってきた。
大滝までかなり遠く感じた。



舗装された木谷島の谷林道に出る [12:54]



木谷島の谷林道と県道の分岐 [13:29]

F12の大滝で沢登終了。
左岸側の斜面を左前方に登って、木谷島の谷林道に出る。
林道の舗装道を吉川林産興業(株)木谷事務所経由で駐車地点へ下山。
なんといっても、下山が楽なのは助かる。やや水量が多かったものの、かえって豪快な流れを楽しみながらの好ルートの沢登を楽しめた。

参考資料：三浦章氏 著「西中国山地の沢」

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura